

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 11月19日（日）

今月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。
子どもは地域でも育ちます。家庭や地域が中心となつて、公園やお店の周囲で気になる子ども達を見かけたら、積極的に声かけをしましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

みんな笑顔で走って

千曲市校長会 児玉 淳子

ゴールに次々に飛び込んでくる笑顔、また笑顔。そして、互いに『がんばったね』とガッツポーズ！十月の澄んだ青空に、明るい声が高く響いていた。十月九日に開催された「姨捨マラソン」の一コマである。

更級コミュニティスクールの一環として、おやじの会が主催する「さらしなっ子チャレンジ・ラン」がある。この活動は、年度当初「ランニングの基本を学び、無理なく親子みんなで楽しく走ること」を目的に、おやじの会が、更級小の児童・保護者に参加を募集する。五月から九月の金曜日夕方、夕日がまぶしく輝く頃、続々と親子連れがグラウンドに集合。指導してくださるのは、西沢民雄先生ほか地域の方々だ。児童も保護者も年々参加が増え、今年は七十名近くとなっている。練習は、指導者の方々にあいさつ、準備運動から始まり、ストレッチ、足の上げ方・腕の振り方など陸上専門の練習、最後は学校外周を走る。自分のペースで、親子で、友達と、みんなで楽しく走ることが、最も大切なのだ。そして、半年間の総仕上げとして、「姨捨マラソン」に多くの子どもたち・保護者が参加する。

特に大勢参加するのは、「わくわくタイム」の部。一、五キロの目標タイムを設定し、それに近いタイムでグループ全員一緒にゴールする。大人を交えた三人から五人のグループが幾つも参加した。スタート時は緊張していた子どもたちも、走るにつれてペースを取り戻し、互いに励まし合い、声を掛け合いながら走る。そして、見事に全員、笑顔でゴール。グループごとのゴールポーズもばっちりだ。荒い息を吐きながら、子ども大人を問わず、笑顔で肩をたたき合う姿に、胸が温かくなる。走りきった充実感、みんなでやり遂げた達成感があふれていた。

心と体を鍛えると共に、互いを思い合う心を育てる経験が出来る子どもたちは、本当に幸せだと思う。

～ 10月の育成センター会議より～

10月31日に、育成センター会議が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

- 1 11月の「子ども・若者育成支援強調月間」及び「有害環境浄化活動強化月間」の取り組み
～合言葉「大人が変われば子どもも変わる」～「ひまわりっ子県民運動」の一層の充実と定着へ
 - (1) 環境チェック活動の実施
 - ・補導委員が各店舗を伺い、健全育成への協力と有害環境についてのチェック活動を行う。
 - ・「有害自動販売機NO宣言」のチラシを全戸に回覧し、市民の意識高揚を図る。
 - (2) 街頭啓発活動の実施 11月1日（水）午前7時～ しなの鉄道屋代駅前
 - (3) 長野県青少年健全育成県民大会 大町市文化会館 11月18日（土）
- 2 9・10月の補導活動を振り返って
- 3 11・12月の補導日程について
 - ・11月： 6日～10日 環境チェック活動（店舗巡回）
16日～20日「図書等取扱店舗」「カラオケボックス」「ネットカフェ」等の巡回
 - ・12月：定例巡回は2回。その中で、大頭祭の特別巡回（11日～14日）も実施。



補導日誌から



公園いろいろ

9月25日（月） 4:00pm～6:00

内川公園では保護者同伴の幼児がおり、3人が砂遊び1人が鉄棒で遊んでいました。母親の皆さんも挨拶を返してくれました。めずらしく小学生の姿はありませんでした。小船山公園では、高校生が1人でバスケットのフリースローの練習をしていました。ここもめずらしく小学生はいませんでした。ぱんだ公園に回ってみました。保育園児と小学生が仲良くブランコをしていました。五十里公園では、私達が着いて間もなく親子4人が自転車で公園にやってきました。子ども達はブランコの方に走って行きました。杭瀬下公園に行ってみると、久しぶりに子ども達が9人も遊んでいました。今日の巡回では、草刈りがしてある公園が多く、すっきりとして見通しがよくなっていてよかったです。

車には気を付けないと

9月26日（火） 4:00pm～6:00

はじめに、五加小学校から小船山方面の通学路へ青パトで向かいました。ちょうど下校の時間帯だったので、行き会う子ども達に「車に気を付けてね」と声をかけながら巡回しました。次いで、戸倉体育館方面へ向かいました。戸倉上山田中学校の部活動の生徒達が自転車で移動していました。「車に気を付けてね」と声をかけました。テニスコートとサッカー場に生徒が集まって来ます。道が狭く車の脇をすり抜ける自転車が危ないので、徐行運転をしました。生徒達が交通事故に遭わないようにと願います。

子どもを守る影の努力

9月27日（水） 4:00pm～6:00

「小船山地区で不審者あり」の引継情報があつたので、はじめに小船山公園に向かいました。小学校1年生2名が遊具で遊んでいました。トイレは清掃されていましたが、男子のトイレトペーパーがなくなっており、駐車場や遊び場にタバコの吸い殻が数本落ちていました。次に更級方面へ向かいました。

小学校では放課後子ども教室が行われており、ボランティアの方々が対応されていました。児童の1人が「鉄棒が使えない」と言いつつ元気に挨拶してくれました。更級児童館にはまだ子ども達が来ていませんでした。職員の方から「先日、不審者への対応や、さす股の使い方などの研修をしました。」との話をお聞きしました。女性の方でも、子ども達を守るために色々されていることに、頭が下がる思いでした。

環境が良く人も良く

9月28日(木) 4:00pm~6:00

屋代駅の待合室、トイレ、ギャラリー等に問題はありませんでした。また、自転車置き場での放置自転車もなく、整理されていました。ねむの木公園、稲荷山公園では、雨上がりのためか子ども達はいませんでした。花壇は手入れが良くされており、沢山の花が咲いていて気持ち良い公園でした。S店では、学習用品の買い物をしていた中学生の男子生徒に、“こんにちは”と声をかけました。元気な返事が返ってきました。

子どもの交流に言葉は二の次

10月4日(水) 4:00pm~6:00

上山田文化会館裏の用水路では、小学校4年生の2人が網で魚取り中でした。グッピーがいると話してくれました。夢中になり過ぎて落ちないようにと、声かけをしました。子ども達は楽しんだ後、キャッチ&リリースをして帰って行きました。上山田児童館では、男女6人の小学生がドッジボール中でした。英語しか話せないという外国人の男子が1人混じっていましたが、どの子も言葉など全く関係なしに元気に遊んでいました。子どもの交流に言葉は二の次と感じました。

みんなの力で健全育成

10月11日(水) 4:00pm~6:00

十月も中旬を迎えようとする本日、晴天に恵まれ連日の夏日。合わせて水曜日という事もあって、公園には大勢の子ども達が繰り出し、友との楽しい時間を共有している姿を目の当たりにしました。「柳原公園では、子ども達がフェンスに登ったり、壁にボールをぶついたり、特にフェンスに至っては壊されてしまうという事案が発生しているので、子ども達へ注意喚起の徹底を願いたい旨の回覧が回った。」との話をお聞きしたので行ってみました。4人の子どもが遊んでいましたが、マナーを守って遊具で遊んでいました。4人に問題になったことを話してみると、子ども達へは事前に指導があったことが分かりました。注意を喚起する看板(4基)も確認できました。できる対策を、市が早急に講じていただいたことにも感謝です。

編集室の窓

子どもしかるな来た道だもの・・・

地区の道祖神の祭礼の日、今年も恒例の奉納子どもずもうがありました。観客が多いのは、乳幼児と園児の部のようです。あちこちに笑顔があふれていました。

中でも一番は乳幼児の部でした。2人が中央に出て行っただけで周囲は笑顔、向き

合っただけで笑顔、2人とも固まって「相撲」にはならなくても笑顔、とにかく土俵にいただけで笑顔。幼い子ども達は、周囲を明るくしてくれました。そこにいただけで主役でした。

“おさなご”はだれもがそこにいただけで、幸せを運んできてくれました。その子を取り巻く人々も、その子がそこにいるお蔭で幸せなひと時を過ごさせてもらえました。

子どもの声をうるさいと感じたら、即行動に移してしまう大人が増えているようです。公園、保育園、色々な場所で…それが乳幼児であっても、「うるさい!」…自分の感情第一、そこには立ち止まりがありません。

子どもしかるな来た道だもの、老人さげすむな行く道だもの…寛容の精神は、日本人の宝なのです。



子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介합니다。

私の将来の夢は美容師になることです。その夢をかなえるには、まず日頃から笑顔で人に接し、思いやりのある優しい大人になること、そして、決められたことをしっかりやりぬく大人になることが大切だと考えています。

私が将来の夢を美容師に決めたのは5年生の時です。みんなの髪をしばってあげるのがすごく好きで、みんなの髪を毛を整えてあげられる仕事につきたいと思ったからです。更に6年生になってから、美容院に来た人に喜んでもらえるようなすてきな美容師になりたいと思うようになりました。もし私が美容師になれば、髪を整えている間にも笑顔で優しくお客さんに接し、細かい心づかいもして、お客さんに笑顔になってほしいです。そして自分に任せられた仕事には責任感を持って最後までしっかり取り組みたいです。夢をかなえて美容師になるには、まず第1にお客さんのことを考える心が大切だと思いますが、美容師としてしっかりと技術をみがいていくことも大切だと思います。そのために美容師になるための学校に行き、髪のカットやパーマなどの技術をしっかりと学んで、腕の良い美容師になりたいです。しっかりした技術でお客さんに満足してもらえることも、とても大切なことだと思います。美容師になるための修行はとてもきびしいと思いますが、あきらめないでがんばっていきたくと思います。そして、もし美容師になれば、お母さんやお姉さんの髪も切ってあげたいです。友だちにもお客さんに来てもらって喜んでもらいたいです。

美容師に向かって今を大切に、ふだんから友だちに対して優しく思いやりを持って接していきたくです。
(6年 堀内 京)

ぼくの将来の夢は、じゅう医さんになることです。なぜじゅう医さんになろうと思ったのか、そのきっかけは、去年愛猫の「マーチちゃん」が車にひかれて足を骨折してしまったことでした。階段を上っている「マーチちゃん」の歩き方が、ぴよんぴよんしておかしいと思い、母と一緒にすぐに病院に連れて行きました。レントゲンをとってみると、後ろ足のところが1cmほどはなれているのが分かりました。痛そうで、かわいそうでした。じゅう医さんは手術をして、プラプラの足をくっつけてくれました。でも、その手術後、「マーチちゃん」が元気すぎて、中のぼうが外れてしまい、もう1度手術することになってしまいました。2回目は成功し、「マーチちゃん」は元気になりました。

また、もう1匹の「シルバー君」も、今年熱中症になってしまいました。クローゼットの中が好きで、暑い夏も中に入っていて、ぐったりとしてしまいました。お母さんがすぐに病院に連れて行きました。じゅう医さんは、点てきを打ってくれ、その後も「シルバー君」の様子をみていろいろなちりょうをし、「シルバー君」は助かりました。

このように、ぼくの家族の大切な猫たちの命を、いろいろなちりょうをして助けてくれたじゅう医さんを、ぼくはかっこいいと思いました。ぼくのあこがれです。ぼくも、こんなじゅう医さんになってみたいです。

そのためには、今のままではだめです。今、やっている勉強を一生けん命やらないといけません。授業中は集中して、よく話を聞き、ノートをとるようにしたいです。そして、かっこいいじゅう医さんになりたいです。
(6年 吉里 優)